

豊岡市官民共創事業提案募集シート

タイトル	誰もが安心して滞在できる温泉街を目指して 城崎温泉街における災害対応に関する約束事の策定に向けて
解決したい課題、 取り組みたい事業について	<p>国内外からの観光客が訪れる城崎温泉において、災害（風水害、地震、津波）発生時における観光客の避難誘導等の安全確保や、災害復旧にかかる観光地としての対応、事前の備え等、「観光」を切り口とした災害対応ルール(防災含む)を明確にする必要がある。</p> <p>城崎温泉は、1925年北但大震災により多くの家屋が倒壊し、その後の火災により町の大半が消失した。震災からの復興・再建では、町の人々は、自らの土地を1割ずつ町に寄付し道を拡幅するなど、一致団結し復興に取り組んだ。外湯を中心に、木造三階建ての街並みを復活しつつ、当時の文明を最大限に活かした温泉地として、1935年には現在の城崎温泉の骨格がほぼ完成した。町是である「共存共栄」の精神は、当時から引き継がれているものである。</p> <p>このような歴史・文化や町の人々の思いを踏まえた城崎温泉独自の約束ごととしたい。</p>
課題の詳細	本年1月1日の津波警報発令時の状況や北但大震災から100年を迎えるにあたり、城崎温泉の観光関係者（観光団体、旅館・飲食店従業員、外湯スタッフ等）が、災害発生時にどのような役割分担でどのように対応するか、また、官と民がどのように連携し対応するかを明確し、いざという時に備える必要がある。
めざす姿・ゴール	<p>城崎温泉を訪れる人々が、安心して滞在を愉しんでいる。</p> <p>観光関係者と行政が、一緒に城崎温泉独自の災害対応に関する約束事を策定し、実施にむけて取り組みが進んでいる。</p> <p>※DCPの策定や防災マニュアルの策定など、アウトプットは観光事業者等との話し合いで決定する。</p>
既存事業（取り組み）の概要	—
課題解決のハードルとなっているもの※任意	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に観光地のDCPや災害対応に関する専門的知識を有する人材がいない。 ・他地域での取り組み事例等の情報が少ない。 ・災害対応の約束事を策定するプロセスが明確ではない。 ・災害対応方針等は定型化された防災マニュアルになりがちである。
参考資料	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
ステークホルダー (関係者・関係団体)	城崎消防団・城崎町湯島財産区・城崎温泉観光協会・城崎温泉旅館協同組合・JR・全但バスなど

<p>企業に求めるもの、 期待すること (資金・人材・技術など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 城崎温泉にあった取組みプロセスを関係者とともに考えること。 ・ 定型化されたプロセスで策定された既存の観光地の災害対応マニュアルではなく、城崎温泉独自の約束ごとの策定にプレイヤーの一人として参加してほしい。 ・ 観光地の災害への備え、災害対応に関する専門的知識や他地域での取組み事例等の情報提供 ・ 城崎温泉街の観光用の災害対応に関する約束の策定のために実施するワークショップのファシリテート(2025年度予定)
<p>募集期間</p>	<p>2025年1月7日～2025年2月6日</p>
<p>民間事業者へのメッセージ</p>	<p>誰もが安心して滞在できる温泉街、災害に強い観光地としてブランディングしていきたいと考えています。</p> <p>様々な知見をお持ちの民間事業者に参加いただき、約束事の策定から始まる城崎温泉での滞在を安心・安全なものにするための取組みを一緒に盛り上げてください。</p>
<p>部署名</p>	<p>城崎振興局 地域振興課</p>

豊岡市官民共創事業提案募集シート

タイトル	子育て世帯に時間と心のゆとりを！ 放課後児童クラブにおける、学校長期休業中の昼食用お弁当づくりに対する保護者の負担軽減に向けた取り組み
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの子どもが、学校の長期休業中も放課後児童クラブ（以下、「児童クラブ」）を利用している。 ・学校の長期休業中は、それぞれが昼食用のお弁当を持参している。
解決したい課題、 取り組みたい事業について	<p>児童クラブを利用する子どもをもつ家庭は、親が仕事をしている家庭が多く、子どもの身支度、自分自身の仕事の準備、昼食用のお弁当作りが重なり負担を強く感じている。</p> <p>特に夏休みは、昼食用のお弁当作りが長期間にわたり、負担感が特に大きい。</p> <p>学校の長期休業中における、保護者の食事準備に対する負担を軽減させるサービス・仕組みにより、子育て世帯の負担感の軽減につなげたい。</p>
めざす姿・ゴール	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブを利用する子どもをもつ家庭での昼食用の弁当づくりに対する負担感が軽減されている。 ・あわただしい朝の時間に、すこしでも時間と心のゆとりをもって、親子のコミュニケーションがとれている。
既存事業（取組み）の概要	—
その他 （共有事項等）	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の職員へのヒアリングや一部の市民の声を受けたものであり、実際はどれだけのニーズがあるのか不明。 ・市内で配食サービスを行っている事業者はあるが、子ども向けメニューが少ない。
参考資料	有 ・ 無
ステークホルダー （関係者・関係団体）	市内飲食業者、市内配送業者
提供できるリソース	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブに在籍する子どもの保護者へのニーズ調査 ・児童クラブでの試験実施
企業に求めるもの、 期待すること （資金・人材・技術など）	児童クラブを利用する子どもの保護者が感じている昼食準備に対する負担感を軽減させるサービス・仕組みの提案
提案要件	市の予算化は想定していない
募集期間	2025年1月7日～2025年2月6日
民間事業者へのメッセージ	毎日ではなく、週1日でもサービスがあれば、負担感の軽減につながります。ぜひ、民間事業者の方の力をお貸しください。
部署名	こども未来部こども未来課・教育委員会幼児育成課

豊岡市官民共創事業提案募集シート

タイトル	子育て世帯に時間と心のゆとりを！ 子育て世帯における、勤務終了後の夕食準備に対する負担感の軽減に向けた取り組み
現状	子育て世帯のうち、特に親が働いている世帯では、勤務終了後、認定こども園、保育園、幼稚園（以下、園）や放課後児童クラブ（以下、「児童クラブ」）へ迎えに行き、買い物をして、急いで夕食の準備をし、入浴・寝かしつけることが常態化している。
解決したい課題、 取り組みたい事業について	親が働いている子育て世帯では、勤務終了後に子どもを迎えに行き、買い物をして、おなかをすかせた子どもの相手をしながら短時間で食事を準備するなど、夕方の時間帯は家事・育児が集中しており、親が負担に感じている。 また、これが毎日続くことで、親の負担感が強くなっている。 夕方の時間帯は、親子にとって1日の中で貴重なコミュニケーションの時間であり、その時間を大切にしたいと思っても、夕食準備等の家事に追われ、心にゆとりが持たず、親子のコミュニケーションに影響を及ぼしてしまうケースもあり、親の負担感の軽減が必要である。 特に、親の夕食準備の負担を軽減させるサービス、仕組みにより、家庭内で時間と心にゆとりが生まれ、親子のコミュニケーションを充実させたい。
めざす姿・ゴール	<ul style="list-style-type: none"> ・親が働いている子育て世帯の夕食準備に対する負担感が軽減されている。 ・すこしでも時間と心のゆとりをもって、子どもの発達に大切な親子のコミュニケーションがとれている。
既存事業（取組み）の概要	—
その他 （共有事項等）	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の職員へのヒアリングや一部の市民の声を受けたものであり、実際はどれだけのニーズがあるのか不明。 ・市内で配食サービスを行っている事業者はあるが、子ども向けメニューが少ない。 ・各家庭の食事手配を行政が担うことは難しい。
参考資料	有 ・ 無
ステークホルダー （関係者・関係団体）	市内飲食業者、市内配送業者
企業に求めるもの、 期待すること （資金・人材・技術など）	親が働いている子育て世帯の夕食準備に対する負担感を軽減させるサービス・仕組みの提案
提案要件	市の予算化は想定していない
募集期間	2025年1月7日～2025年2月6日

民間事業者へのメッセージ	毎日ではなく、週1日でもサービスがあれば、負担感の軽減につながります。ぜひ、民間事業者の方の力をお貸してください。
部署名	こども未来部こども未来課

豊岡市官民共創事業提案募集シート

タイトル	出産直後の家庭における負担感の軽減に向けた取り組み
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産直後（※）の母親は、特に疲労感が強い時期であり外出しづらい状況にあるとともに、様々な理由で心も体も不安定になりがちな時期でもある。 ※出産～1か月検診～産後4カ月 ・ 市は、産前産後の家庭への支援として、心身の不調などにより子どもの養育に支障がある方等を対象に産前産後サポート事業（家事援助のヘルパー派遣）を行っているが、ヘルパー人材が不足しており、ニーズに対して十分なサービスを提供できていない。
解決したい課題、取り組みたい事業について	<p>出産直後は、特に疲労感が強い時期であり、外出しづらい状況にある。家庭の日中家事（生活必需品の買い物や食事の準備など）を行う人（サポートをお願いできる人）がいない家庭では、母親の買い物や食事の準備などの家事負担が大きい。</p> <p>赤ちゃんとの新しい生活をスタートする家庭が、親子ともに健やかに過ごせるよう、出産直後にサポートを必要とする家庭の家事負担を軽減する取り組みが必要である。</p>
めざす姿・ゴール	出産直後の家庭が、時間と心のゆとりをもって、子どもと一緒に過ごすことにより、子育てに喜びを実感し、子育ての負担感の軽減につながっている。
既存事業（取り組み）の概要	<p>【現在の取り組み状況】</p> <p>産前産後の家庭への支援として、産前産後サポート事業（家事援助のヘルパー派遣）を行っている。申請により、支援プランを作成するとともに、委託先のヘルパーを確保したうえで、事業実施を行っている。（1日1時間週1回程度）</p> <p><u>産前産後サポート事業</u> https://www.city.toyooka.lg.jp/kosodate/kenkokenshin/1007330.html</p> <p>【問題点】</p> <p>産前産後サポート事業のヘルパーは、市内の事業者にて委託している。受託事業者は、高齢者介護のヘルパーも担っており、人材が不足している。</p>
その他（共有事項等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部の市民の声や子育て中の職員へのヒアリングで把握した課題であり、実際はどれだけのニーズがあるのか不明。 ・ 市内で配食サービスを行っている事業者はあるが、子ども向けメニューが少ない。
参考資料	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
ステークホルダー（関係者・関係団体）	市内飲食業者、市内配送業者、小売店
企業に求めるもの、期待すること（資金・人材・技術など）	出産直後の買い物や食事の準備に対する負担感を軽減させるサービス・仕組みの提案
提案要件	市の予算化は想定していない

募集期間	2025年1月7日～2025年2月6日
民間事業者へのメッセージ	毎日ではなく、週1日でもサービスがあれば、負担感の軽減につながります。ぜひ、民間事業者の方の力をお貸してください。
部署名	こども未来部こども未来課